

農業団体

「池田の農業者一丸に」 2JAが合併調印 十勝池田町・十勝高島 2020年3月26日

【池田】来年3月1日に対等合併を予定しているJA十勝池田町（鈴木雅博組合長）とJA十勝高島（八木英光組合長）は26日午前11時から、町西部地域コミュニティセンターで合併契約書に調印した。両JAは4月22日に開く通常総会で合併を決議し、来年1月か2月に十勝総合振興局に合併認可申請を行う。

鈴木組合長は「互いの培ってきた歴史、成り立ちを学び、理解し合い、自主、自立、相互扶助の精神によって、組合員、地域、利用者から信頼される組織として、池田町の農業者が一丸とならなければならない」とあいさつ。鈴木、八木両組合長、立会人の三井真十勝総合振興局長、勝井勝丸池田町長が契約書に署名、捺印した。両組合長は調印後、握手を交わした。

三井局長、勝井町長、十勝地区農協組合長会の有塚利宣会長代理のJA道中央会帯広支所沼田光弘支所長が祝辞。八木組合長は「次世代の組合員のため、信頼される農協を目指すため合併するに至った。合併し、しっかりと基盤をつくり、1足す1が2以上になるよう、やり遂げたい」と述べた。

合併後のJAは十勝池田町とし、十勝高島は解散する。両JAを合わせた正組合員数は408人、合併後の役員数は理事18人、監事7人。両JAを合わせた農畜産物販売支払高は2018年度実績で68億3,197万円。信用部門は貯金209億7,270万円、貸付金48億846万円。

両JAが正式に合併した場合、道内では15年のJAびらとり（JA平取町とJAとみかわの合併、日高管内）以来6年ぶり、管内では05年のJAあしよると足寄町開拓農協の合併以来16年ぶりとなる。



合併契約書に調印後、握手を交わす
鈴木組合長（左）と八木組合長

粗生産高 最高142億円 生乳生産も好調 JA中札内村 2020年4月11日

【中札内】JA中札内村（山本勝博組合長）の通常総会が10日、村の農業管理センターで開かれた。2019年度の農業粗生産高は前年度比5.8%増の142億5,010万円で、過去最高額になった。

例年は村文化創造センターに組合員を集めて開催しているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点で集会は取りやめた。組合員には事前に書面で議案を通達し、19年度事業報告や20年度事業計画案など7件を可決。この日は役員のみが集まり議決を確認した。

昨年の農産部門は天候や市況低迷の影響で一部が前年を下回る数字となったが、小麦、ビート、小豆、でんぷん原料用ジャガイモは過去最高の生産高となった。生乳

生産も1.7%増の4万3,550トンとなり、過去最高を記録した。

当期末処分剰余金は8億9,259万円、事業分量配当金は2億3,026万円を計上し、どちらも過去最高を記録している。山本組合長は「(19年度は)多くの部門で良い数字が出た1年だった。今は組合員の健康管理をしっかり行いたい」と話した。